

2018年12月

嫌われがち施設の配置傾向の定量分析

経営学部 経営学科 根本ゼミ
B5R11070 櫻井 曜

[卒業論文概要]

ごみ処理場や火葬場などの施設は必要であるが居住地の近くにはあってほしくないと感じる人は多いだろう。そこで、多数の住人にとって近くにあると嬉しくないと思定される施設（以下、嫌われがち施設）の配置傾向について定量化を試みたい。

本研究では各市町村における嫌われがち施設の配置傾向を定量化する手法を提示したい。具体的には、嫌われがち施設は市町村の周辺部にあると定性的なイメージだが本当であるかについて嫌われがち施設である火葬場を用い神奈川県と長野県の2県を対象に配置傾向を調べた。まず、各県を市町村毎に分割し各市町村で現存する火葬場と市役所の2点を取得した。次に、嫌われがち施設が市町村の中心に対してどのように離れているかを求めるために市町村の最小包囲円に対し各点から距離の割合を求めた。最後に、市役所から火葬場までの距離と火葬場から市の最小包囲円までの距離に対しても割合を求めた。これらの割合で分類し、神奈川県と長野県の2県において類似している市町村の比較を通じ定量的に把握できることを示した。